



山形大学農学部

2019

学部案内



専門的にも横断的にも学べる新農学部へ

山形大学農学部長 林田 光祐



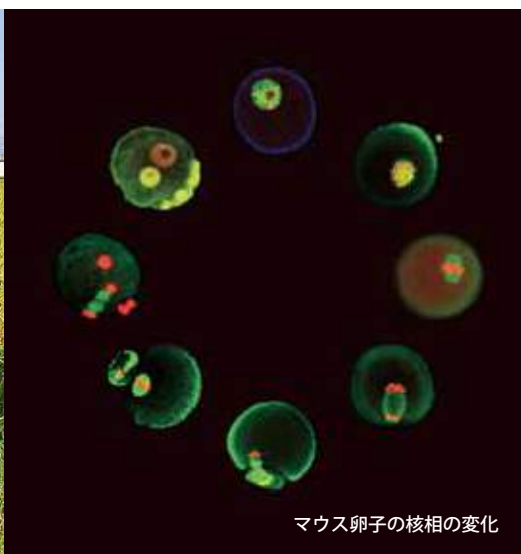
農学は食料・環境・エネルギー問題など人類が直面している様々な課題の解決を目標とした総合科学です。山形大学農学部は、1年次に農学全般を広く学び、2年次から自分の学びたい専門を深く学ぶ、1学科6コース制で教育を行ってきましたが、2019年4月から同じ1学科制のままこれまでの特徴をさらに伸ばす3コース制に変わります。3コースにそれぞれの基幹プログラムとコース横断的な2つのプログラム（国際展開プログラムと地域創生プログラム）を設けることにより、どのコースからでも、国際化や地域創生に対応した教育プログラムを受けることができます。自分の将来を見据えながら、コースとプログラムを組み合わせ、学んでください。

豊かな自然と食と農の文化に恵まれた環境で、地域が抱える課題を身近な現場のフィールドで学ぶことができることも本学部の大きな特徴です。さらに、国際交流も活発に行っており、約50名の留学生がそれぞれの研究室でゼミや調査、実験など一緒に学んでいます。

農学部で学び身につけた総合力で、地域や世界の様々な課題を解決し、幅広く活躍されることを期待しています。



収穫期を迎えた農場の稲



マウス卵子の核相の変化



演習林の早田川に生息するヤマメ

平成31年4月から新しい教育体制へ

平成31年4月から、3つのコースに再編成し、3つの履修プログラムを新たに設けることにより、地域創生や国際化に対応できる総合力をも重視した教育体制に変わります。

現在の「1学科6コース」を「1学科3コース」に編成し直すことにより、各コースで学べる範囲が広がります。

さらに、3年次には、履修プログラムを選択します。各コースにおかれる「基幹プログラム」で専門性を活かした学び方をするか、「地域創生プログラム」「国際展開プログラム」というコース横断的プログラムで特色ある総合力を身につける学び方をするか、自分の将来を見据えて、学び方が選べるようになります。

1学科におかれる3つのコース

基礎科目の履修をもとに、自分の興味や適性に合わせて、1年次後期にコースを選択し、2年次からコース配属となります。



アグリサイエンスコース

安全な農畜産物を持続的かつ安定的に生産するための理論や技術を学びます。さらに、限られた資源（物的資源、人的資源）を有効に利用するためのマネジメントについて学びます。

【育成する人材像】

安全な農畜産物の持続的生産・管理を担える人材

【学べる主な分野】

作物学、野菜園芸学、動物生態学、畜産学、観賞植物学、栽培土壌学、果樹園芸学、植物病理学、生産機械学、食農環境経済学、食農環境会計学、食農環境社会学、食農環境政策学、食農環境地理学、食農環境経営学

【取得可能な資格】

食の6次産業化プロデューサー、GIS学術士、食品衛生管理者及び食品衛生監視員（任用資格）、樹木医補、自然再生士補、測量士補



バイオサイエンスコース

植物や微生物、高等動物など多様な生物を対象とし、これらがもつ生理機能の解明、有用機能の探索・改良など、広範囲の領域を基礎から応用まで学びます。

【育成する人材像】

生命科学、食品科学などに関わる現場で活躍できる人材

【学べる主な分野】

食品栄養化学、動物機能調節学、応用微生物学、分子細胞生化学、食品創製科学、発酵制御学、バイオマス資源学、植物遺伝・育種学、植物遺伝資源学、生物有機化学、植物栄養学・土壌学、農産物生理化学、微生物資源利用学



エコサイエンスコース

農林業の基盤となる自然環境や生態系のメカニズム、機能を理解し、それらが産み出す恵みを享受しながら、将来に渡り持続可能な形で管理、保全するための理論や技術を学びます。

【育成する人材像】

森・水・土を知り、地域・地球環境の問題を解決できる人材

【学べる主な分野】

森林生態学、森林影響学、森林保全管理学、林政学、森づくり論、森林資源利用学、里山創生論、流域保全学、農村環境学、水利環境学、農地環境学

3つの履修プログラム

各コースにおける課題を解決するための理論や技術を学んだ後に、

- ・専門分野のより高度な知識の習得を目指す「**基幹プログラム**」
- ・学んだ理論や技術を活かして国際的に活躍したい学生を対象とする「**国際展開プログラム**」
- ・地域の活性化に貢献したい学生を対象とする「**地域創生プログラム**」

の中から、プログラムを選択します。

基幹プログラム

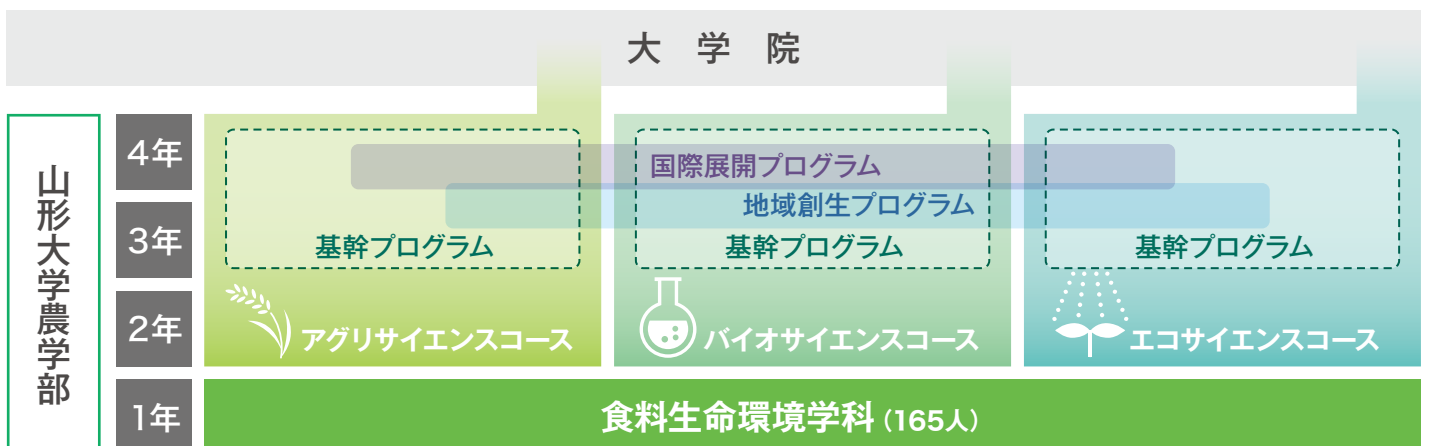
アグリ、バイオ、エコの各コースについて、それぞれの課題を解決するための理論や技術を学び、サイエンスを指向する。

国際展開プログラム

語学力向上と、外国人留学生との交流を含めた演習、海外実習などを学び、グローバル化の進む日本社会の課題を解決するための国際的感覚を身につける。

地域創生プログラム

食や農を核とした地域振興のニーズにこたえるべく、地域の活性化とその好循環の維持を実現するための地域社会をマネジメントする方法を学ぶ。



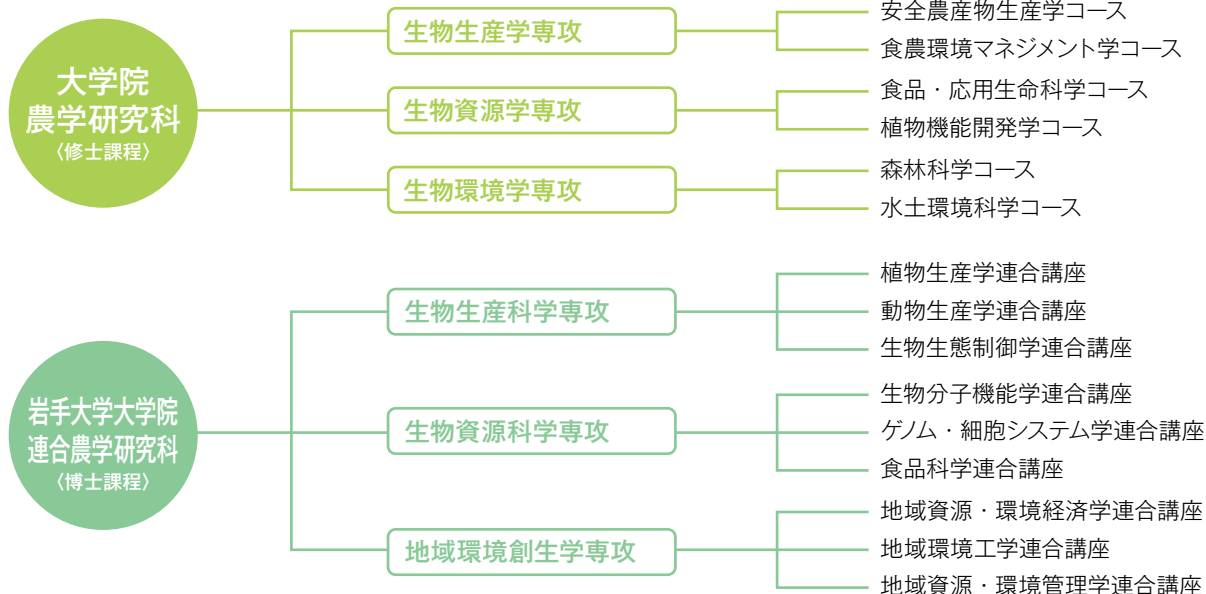
※平成31年4月に向けてコース再編を計画しています。記載の内容は平成31年4月予定のものです。

山形大学農学部では大学院の教育・研究に力を入れており、大学院進学を推奨しています。

本研究科には農学部を基礎として、各専門分野や学際領域における研究の発展・深化、さらには多様化・複雑化する社会の要請に対応するため、生物生産学専攻、生物資源学専攻、生物環境学専攻の3専攻が設置されています。各専門分野における高度な知識を修得するとともに、研究、調査、開発といった創造的な事業に従事する上での実践的な能力を養えるよう、きめ細かいプログラムが用意されています。

また、山形大学・岩手大学・弘前大学の連合によって設置されている岩手大学大学院連合農学研究科（博士課程）では、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育研究体制を整えており、進学した場合も引き続き本学教員の指導の下で研究を進めることができます。なお、構成大学からの進学者及び構成大学の修士課程を修了し、3年以内の方は入学料が免除されます。

■ 大学院組織図



大学院進学者の声

山形大学大学院農学研究科 修士課程（2年間）

生物資源学専攻・修士1年

飯塚 千晶

（茨城県立下妻第一高等学校出身）



農学の面白さは、科学の基礎応用が、我々に身近な環境や生活に貢献できる点にあると私は考えています。特に、農芸化学は、生命現象・食品・健康等に関与する、注目度の高い重要な学問です。私は、そこに関わられた一理系学生として、基礎技術や知識を身につけたうえで社会に出たいと思い、進学を選択しました。また、私は興味のある研究分野に所属出来たこともあり、更に深く学びたいという動機も進学を決め手です。大学院と聞くと身構えてしまうかもしれませんが、将来研究者になりたい人ばかりではなく、「大学生活が楽しい」「資格の勉強を続けたい」「もう少し勉強を続けてから就職を考えたい」といった気持ちで進学する人もいます。皆さんも、あまり気負わずに大学院進学を考えてほしいです。

岩手大学大学院連合農学研究科 博士課程（3年間）

地域環境創生学専攻・博士1年

田邊 大

（仙台育英高等学校出身）



私が大学院に進学した理由は修士課程での研究をさらに続けていきたいと考えたことと研究職につきたいなど考えるようになったからです。

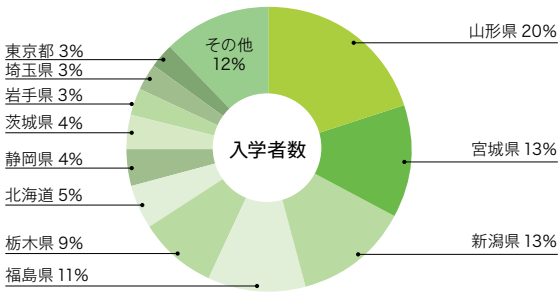
現在取り組んでいる研究はUAV（無人航空機）、いわゆるドローンをを用いた畑作物のリモートセンシングを行っています。リモートセンシングというのは離れた位置から対象物を測定する手段で、近年注目されている精密農業の基幹技術の一つとなっています。私の研究ではドローンで畑地上空を飛行させて上空から見た畑作物の画像を収集し作物の生育などを評価するということを行っています。将来は、本研究で得られた知見を作物生産の現場にフィードバックし、日本の農業の発展に貢献したいと考えています。

入学試験データ・就職&進学データ

■平成30年度 入学試験実施状況 (平成30年4月1日現在)

学部名	学科名	選抜名称	募集人員	志願者		受験者		合格者		追加合格者		入学者	
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
農学部	食料生命環境学科	前期日程	95	136	109	131	100	65	49	0	0	60	40
		後期日程	25	182	143	182	143	21	20	0	0	11	10
		AO入試Ⅱ	5	10	14	3	7	1	4	0	0	1	4
		推薦入試Ⅰ	40	28	36	28	36	16	26	0	0	16	26

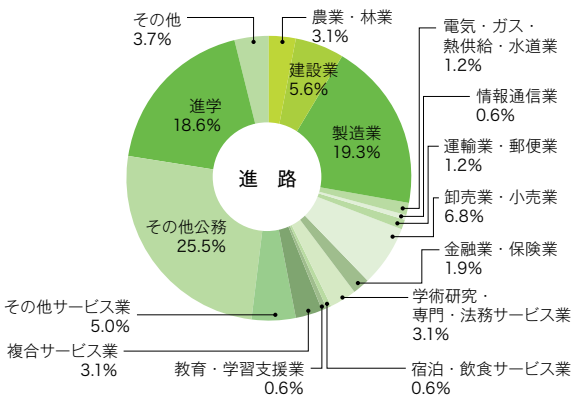
■平成30年度 地域別入学者割合



■在学生出身地

都道府県名/在学生数	福島県 / 79	神奈川県 / 14	岐阜県 / 2	兵庫県 / 4
北海道 / 23	茨城県 / 16	新潟県 / 68	静岡県 / 26	和歌山県 / 1
青森県 / 23	栃木県 / 51	富山県 / 6	愛知県 / 8	広島県 / 2
岩手県 / 24	群馬県 / 20	石川県 / 1	三重県 / 6	高知県 / 2
宮城県 / 74	埼玉県 / 22	福井県 / 1	京都府 / 1	鹿児島県 / 1
秋田県 / 22	千葉県 / 7	山梨県 / 5	滋賀県 / 0	その他 / 5
山形県 / 114	東京都 / 18	長野県 / 10	大阪府 / 4	計 / 660

■就職・進学データ



※就職率データは平成29年度卒業生のもので、
 ※就職先・進学先は、過去3年間の実績(抜粋)です。

■就職

JA全農/JA鶴岡/(株)JR東日本商事/アグロカネシヨウ(株)/カネコ種苗(株)/黒龍酒造(株)/(株)佐藤渡辺/(株)シー・アイ・シー/(株)シャトレゼ/(株)でん六/フジパン(株)/(株)ブルボン/わらべや日洋(株)/エスピー食品(株)/伊藤ハムデイリー(株)/(株)伊藤園/井関農機(株)/丸善食品工業(株)/(株)金龍/山崎製パン(株)/青葉化成(株)/太陽油脂(株)/朝日工業(株)/東北アヲハタ(株)/(株)南東北クボタ/日新製菓(株)/日東ベスト(株)/日本食研ホールディングス(株)/農林中央金庫/(株)明治/農林水産省東北農政局/林野庁/青森県/秋田県/茨城県/岩手県/群馬県/東京都/栃木県/長野県/新潟県/福島県/宮城県/山形県/宇都宮市/酒田市/鶴岡市/福島市/山形市/国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構/(公財)山形林業公社/(独)農林水産消費安全技術センター/庄内赤川土地改良区/(独)家畜改良センター/本荘由利森林組合

■進学

岡山大学大学院/神戸大学大学院/静岡県立大学大学院/千葉大学大学院/筑波大学大学院/東京海洋大学大学院/東京農工大学大学院/東北大学大学院/奈良先端科学技術大学院大学/新潟大学大学院/広島大学大学院/北海道大学大学院/山形大学大学院

■就職率の推移

(就職決定者/就職希望者)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	99.2%	100%	100%

卒業生インタビュー

コースでの学びを生かし、仕事は日々充実。
 バンド活動や大学祭、仲間との交流はいまでも続く。

茨城県林業技術センター職員

富田 莉奈

(2013年度農学部卒業)

森林科学コースで森林資源利用学分野を専攻した私は、茨城県庁の林業職という、大学で学んだ知識をフルに生かせる適職に就くことができました。現在は、林業技術センターのきのこ特産部に配属され、食用きのこの栽培技術の開発に取り組んでいます。

農学部の大学祭実行委員会の一員として運営に携わったり、重音楽研究会に所属してコピーバンドを組んだり、大学生活には楽しい思い出がいっぱいです。一方、学業面はというと、研究室に所属してからは、研究と就活の両立で大変な時もありましたが、担当の教授や同期の仲間、先輩や後輩にも助けをもらいながら無事に卒論を仕上げることができました。さまざまな経験ができた大学生活の中でも、一番の宝物といえば、楽しいことも辛いことも分かち合える友人たちに出会えたこと。今でも、思いっきり遊んでストレスを発散したり、仕事のことを相談し合える大切な存在です。

高校生のみなさん、山形大学は広大な土地で思いっきり学び、そして楽しむことができるいい大学です。特に、農学系を志望している人には、1学科制で1年次に農学に関する幅広い授業を受けて知識を深め、自分が何をやりたいかをじっくり考えた上でコース選択ができる点をおすすめです。ぜひ、みなさんにも海あり、山ありの豊かな自然環境の中で、有意義な大学生活を送ってほしいと願っています。



附属やまがたフィールド科学センター

エコ農業部門

農場

農場は農学部キャンパスの南5.3キロメートル、県立公園の金峰山の麓、豊かな自然の中に立地する一団地24ヘクタールの総合農場です。ここでは、農学に関する学習、教育研究のためのフィールドであり、農業生産を実践としながらこれと一体の実習教育と研究を進めています。



流域保全部門

演習林

流域保全部門は、演習林のフィールドを対象に、持続可能な森林管理や森林生態系の修復・保全など環境保全型の森林管理技術の構築に関する教育研究を行っています。特に、演習林が我が国有数の豪雪地帯に位置することから、積雪環境と森林生態系の相互作用や利雪・親雪に関する個性的な教育研究を行っています。



社会教育部門

センターの農場は朝日山地や月山を源流とする山形県内第2の大河川である赤川の下流域に、演習林は上流域に位置します。中下流域は日本有数の食料生産地帯であり、上流域はブナを中心とする冷温帯落葉広葉樹林帯です。当部門ではこのフィールドを活用して、体験学習、生涯学習およびリカレント教育などの社会教育を担当します。加えてアジアを中心とした開発途上国の農業技術者の研修受け入れなどの国際貢献も担当しています。

国際交流

山形大学農学部では国際交流を活発に行っています。

約50人の留学生がいるほか、平成29年度は、海外研修等で5カ国6大学との間で派遣・受入を行いました。

■ 主な学術交流協定大学

国名	機関名
中華人民共和国	延辺大学（大学間協定）、浙江省農業科学院、中国農業大学食品科学栄養工学部、瀋陽農業大学、華中農業大学、東北林業大学
モンゴル	モンゴル生命科学大学（大学間協定）
タイ	チェンマイ大学（大学間協定）、キング・モンクット工科大学トンブリ校、カセサート大学農学部カンベンセン校、カセサート大学理学部
インドネシア	ガジャマダ大学（大学間協定）、インドネシア林業省森林研究開発庁森林自然保全研究開発センター、ムラワルマン大学林学部、ランブンマンクラート大学林学部、ボルネオ大学、ポゴール農科大学
ドイツ	ライプニッツ・ハノーヴァー大学（大学間協定）
バングラデシュ	シエレ・バングラ農業大学、ハジェ・モハマド・ダネシュ科学技術大学、バングラデシュ農業大学
ラオス	ラオス国立大学工学部
フィリピン	ピサヤ大学

■ 平成29年度実績

派遣：41名（ベトナム13名、ドイツ12名、タイ8名、インドネシア8名）

受入：43名（ドイツ16名、インドネシア15名、モンゴル5名、ベトナム5名、中国2名）



人類が地球規模での危機的な食料、環境、エネルギー問題に直面している今、このような複雑な課題を解決するには、応用力と総合力が必要となります。山形大学農学部では、総合科学としての「農学」を重視した1学科制により、下記の教育理念に基づいた人材養成を目指しています。

山形大学農学部の教育理念

1

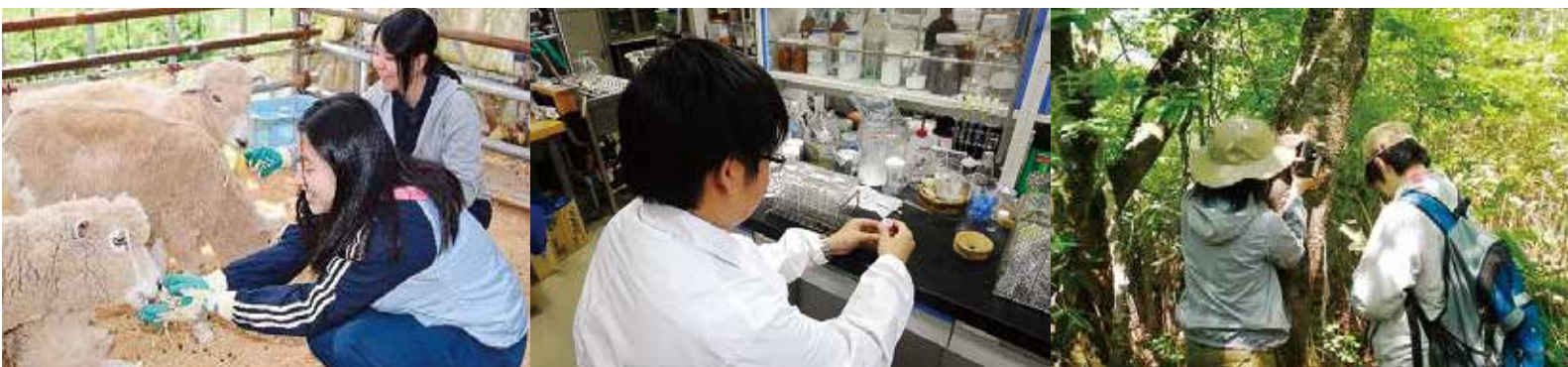
食料、生命、環境科学を総合的に学習し、総合的な判断力を有したバランス感覚のある人材の養成

2

食料、生命、環境科学に関して強い好奇心と探求心を有し、おもに「安全・安心な農畜産物の生産・流通・加工」、「機能性食品素材等の開発と利用」、「緑豊かな環境の維持と保全」、「地域の活性化」に取り組む人材の養成

3

食料、生命、環境科学に関する諸課題への高い見識と展望を持ち、自ら諸課題を解決する能力のある人材の養成

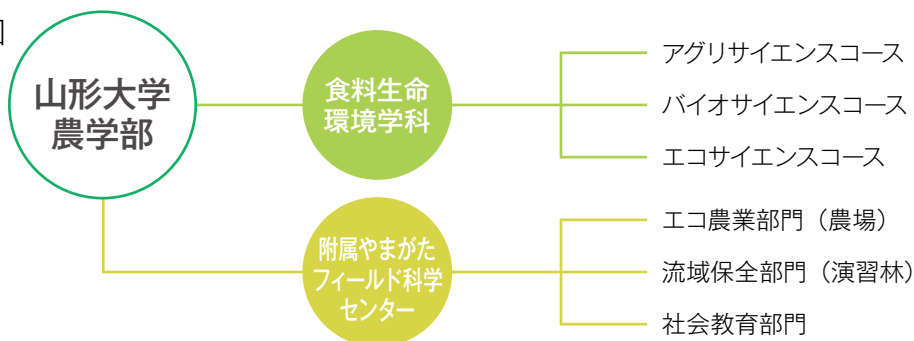


■ 山形大学・農学部に入學してから卒業まで

鶴岡キャンパスへ移行



■ 農学部組織図



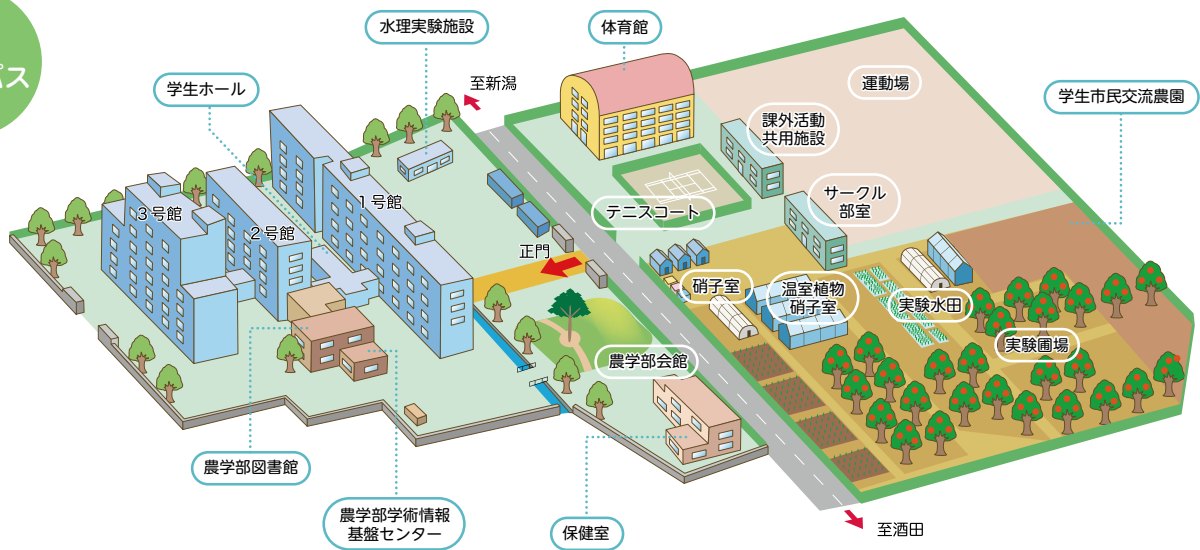
学生寮

名称	啓明寮
対象	農学部2年次以上 鶴岡キャンパス履修者
定員	男子36名・女子35名
寄宿料(月額)	18,000円
所在地	鶴岡市若葉町12-4
キャンパスまでの距離	鶴岡キャンパスまで500m
建築年	2013年改修
主な設備	ユニットバス、トイレ、ミニキッチン(IH)、 冷暖房エアコン
共同利用の設備等	ラウンジ、面会室、洗濯室(コインランドリー)、 倉庫、トイレ、自動販売機コーナー
1ヶ月あたりの概算経費	約25,000円 寄宿料: 18,000円 光熱水費: 約7,000円



※寄宿料(月額)に食費や光熱水費等は含まれておりません。
※学生寮はすべて個室です。

鶴岡キャンパス



アクセス

●東京から

東京駅	JR新幹線	新潟駅	特急いなほ	鶴岡駅	徒歩
	2時間		2時間		20分
羽田空港	全日空1日4便	庄内空港	リムジンバス	鶴岡エスモールバスターミナル	徒歩
	1時間		25分		10分

●仙台から

仙台駅前 (広瀬通40番)	庄内交通・宮城交通・山交バス・羽後交通	鶴岡エスモールバスターミナル	徒歩
	共同運行高速バス	2時間45分	10分

●山形から

山形駅前 (①番のりば)	庄内交通・山交バス	鶴岡エスモールバスターミナル	徒歩
	共同運行高速バス	1時間50分	10分



山形大学 農学部

〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-2-3
TEL/0235-28-2911 FAX/0235-28-2836
E-mail:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

<http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/>

Web TOPへ



●この山形大学農学部案内で不明な点や、より詳しく知りたい方は、左記までお問い合わせください。

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。